

まゆだま

2012. 10. 3発行
No. 358

連絡先：高田（八王子一小）
東京歴教協 八王子支部

二〇一二年
九月号

～ 2学期が始まって最初の1週間。まだまだ残暑がきびしい土曜日の午後。
クーラーの効いた涼しい部屋で、熱い熱い語り合いがありました。～

9月例会報告：「授業作り講座」授業の視点とは

全国大会、東京大会、支部例会といろいろな場面でたくさんの実践報告をされてきた滝口さん。今回は、中学校の社会科授業の報告という範囲にとどまらず、社会科教師の原点から始まり、社会科をどう考えるか、どういう視点で授業を作るのか、教材集めは、大切にしていること、などをたっぷりとお話していただきました。（この例会のために、午前中は運動会予行の板橋区から例会の八王子市まで・・・まさに東京都大横断。授業作りに対するその熱意にも感謝です！！）

<社会科教師としての私の原点>

- ① 1953年8月16日＝”新生日本の日”（と滝口さんは考えている）
函工教師の父の元、東京都中野区に生まれる
- ② 小中高の記憶・・・学テのこと、勤評のこと、1時間スト、高校紛争、高2の冬の会合、徳武敏夫（歴教協副会長）との出会い
紀元節の解説を受ける
★「どうしてこんなに大切なことをこれまでの社会科教師が教えてくれなかったのか」という疑問
早乙女勝元氏の講演を聞く（東京大空襲のこと）
★「勝元、良く観ておけ、これが戦争だ」という話
滝口さん自身は、6人兄弟の末っ子だったが、実家は疎開できず、上から2人の兄達は戦時中の栄養失調で亡くなる。家族は1945年3月9日に親戚のいた亀戸に出かける。→「紙一重」の「生死の境目」がある。
- ③ 大学の記憶・・・教師志望だったが、教員養成大学への進学は望まなかった。
教科書裁判（杉本判決）の時期と重なる法学部時代。
教育と法学との接点を求める。裁判問題研究会で教科書問題を学ぶ。1974年（高津判決）での報告集会に参加し



ていた。社会参加によって本当のことが見えてくる、学べる、わかってくる→学校の中ではわからない、社会とつながる学び方を学ぶ。
再任拒否問題（宮本康昭さん）・横田基地騒音訴訟（福本龍蔵さん）
+大槻健の教育原理→社会の中（現実）から学んできた事実

「人と子どもを出会わせる」という自分の授業実践の原点であるとふりかえる。

<歴教協と私との接点>

- ① 中学教師になってから「わかる授業シリーズ」で出会う
- ② 歴史地理教育1980年4月号「100時間の日本史」を機に会員となる
- ③ しかし、荒れる中学校現場の勤務に、実際は会員になっても無活動のまま、1985年まで雑誌は「積ん読」だけに→7年間の実践生活
- ④ 新宿区に異動→6年間 教師生活13年目に、偶然車内で友達と会う
- ⑤ 国立附属中学校へ異動 研究会に参加→3年間の研究生活で実践のみ生活から実践記録、体系化の必要性を感じる→公立中学校に戻る
- ⑥ 1994年 はじめて全国大会（千葉大会）で発表する
- ⑦ 石井建夫さんにすすめられて、地理分科会世話人をする・・・現在も
- ⑧ 教科件、民研にも参加→「教科論・授業論」だけでなく「子ども論」の必要性を感じる＝「幅広く学ぶことの大切さ」を知る
- ⑨ 1997年 神戸の小学生殺傷事件発生（自分は中学校1年生担任）
→今までの常識が通じない人間的な交流ができない子どもの増加を感じる
→神戸の事件の中学生と目の前の子どもが同じように見えてきた
→学校では、”人として成長する授業”を考えていかなければ
（単なる生活指導ではなく、心に届く・揺さぶるような総合的な学びへ）
- ⑩ 「典子は今」の映画の上映→本人とのやりとり（手紙&質問）・・・電話は無理、直接本人に聞いてみないとという思い・・・会いに行ってしまう→インタビューを慣行・・・「録ってもいいですか？」＝「断られる」＝「録音だけ」・・・「当事者の思い」に寄り添う（人間は単なる教材ではない）

★★★目の前の子ども達と教育的にどう向き合うか(社会科)★★★

<学校作り・同僚作りが授業作りと連動する>

- ・高島二中の実践（2001） 副担任としての3年間の実践
- ・管理職との関係→どれくらい理解を得られるかによって実践が変わる現実
- ・研究を進めていくこと+情報提供+教育の内容で理解をしてもらうこと＝立場的に対立しない。→実践で子どもが変われば教育が、同僚が、連帯していく（望ましい姿）→校内の花壇に「愛吉・すずのバラを植樹」する
- ・管理職も、親も巻き込んでいくことでその実践が支えられて厚くなっていく
- ・現実には職場や校務の配置転換により、実践の実現が難しいこともあるが、あきらめずに実践して、記録して、伝えていくことを続けていきたい。
- ・地域に学び、共に学ぶ合うことを念頭に、その年の生徒達に向き合っていく。

